

2024年度 聖路加国際大学の取り組みに対する意見聴取結果

学生に在学中に身につけさせる学力や資質・能力及び養成しようとする人物像に照らして、教育の成果や効果が上がっているかについて検証するために、本学卒業生の就職先である医療施設（1施設）に対して意見聴取を行った。

日時：2024年12月16日（月）10：00～11：10

質問者：学部長 キャリア支援分科会長

次第：①本学卒業生の就業状況について

②ディプロマサプリメントについて

1. 本学卒業生の就業状況について

聖路加国際大学出身者に限ったことではないが、10年以上勤務する人はとても少ない。就職活動中、必要な書類の提出が遅い、などということはないが、自由な感じの学生たちが多いと感じる。国際的に活動をする看護師を志して就職を希望する人も多いが、当センターの活動に関わるキャリア構築の道のりは長く、1年目から当センターの実践者ラダーの体制はあるが、キャリア途中で様々な移行期がある中、実際に海外で活動するに至る人は限られている。

キャリアが長期間継続しない理由には、初めから長いキャリアを設計しないという今どきの若者の傾向もある。宿舍の入居期間が3年以内であることなどの環境要因もあるかもしれないと考えている。

「こんな人に就職してほしい」という希望はあるが、学生のうちに「こんなことをしておいてほしい」ということは特にない。学生は学生の本分である学びとともに、職業人、社会人としての準備につながる経験を積んでおいてほしい。また、学生時代にしかできないことをしておいてほしい。看護以外の経験を積むこともその人を形作るものになる。また、新興感染症の流行中はオンライン授業が多かったせいか、基礎体力が不足する人がいるようなので、体力をつけてほしい。

学生の間には、組織やチームなど集団での行動は経験している人が多いと感じる。また、タイトなスケジュールで看護の勉強もこなしている。しかし、それらの経験が活かされていないと感じる。何につまずいているのか、今までのやり方でうまくいかなかったとき、どんな力を活かせばよいかを考えて、しなやかに対応できないと、大学で学んだことと現場とのギャップで苦しくなる人がいるようだ。

2. ディプロマサプリメントについて

病院として提出を求めているということもあるが、採用時に成績とともにディプロマサプリメントを受け取ったことはない。ディプロマサプリメントの項目にあるものの一部は、当施設の応募書類のなかにも含まれている。以前のように就職した全員が同じペースでキャリアを構築していくわけではない。そのため、就職した一人ひとりの個別性を理解するためには、ディプロマサプリメントは有効かもしれない。